



清峰だより

令和3年3月24日(水)発行
長崎県立清峰高等学校
学校通信 第152号
発行責任者 校長 中村 太一
学校ホームページ <http://seiho-h.ed.jp/>

日常の積み重ねにこそ、道は開ける！

校長 中村 太一

3月1日、152名の卒業生が、本校を巣立っていきました。今年の卒業生ほど、学習、部活動、学校行事において、我慢を強いられた生徒たちはいません。思うにまかせなかった生徒たちであるからこそ、その前途は、光輝く希望に満ちたものとなることを願わずにはいられません。

さて、来年は、いよいよ、現2年生、1年生が学校の中心となります。残りの清峰高校での生活の中で、これからの長い人生を生きていくための、しっかりとした土台を築いてほしいと思います。

フランス料理の名シェフ齊須政雄氏は、その著書の中で、仕事に対する心構えを一つの山の姿にたとえ、「すそ野が広がっていない山は高くない。」と表現しています。齊須氏は20代初めの頃、技術指導のために来日していたフランス人シェフから見込まれ、本場フランスのレストランで働かせてもらう機会を得ることができました。しかし、そのフランス人シェフが齊須さんを見込んだ理由は、単に料理の腕が良いということではなく、誰よりも厨房をきれいに掃除し、鍋や調理道具の整理整頓を怠らないという、齊須さんの調理場での何気ない気配りへの評価でした。齊須さんは著書の中で、「ひとつひとつの工程を丁寧にクリアしていなければ、大切な料理を当たり前に作ることができない。大きなことだけをやろうとしていても、一つずつの行動が伴わないといけません。料理人という仕事をしていると、日常生活の積み重ねがいかに重要なことかが、よくわかります。」と語っています。

齊須さんの作る素晴らしい料理も、毎日の見えない努力の積み重ねが形となって表れたものです。目に見えるすぐれた部分は、その下に隠された、たくさんの積み重ねに支えられています。見える部分が素晴らしいほど、見えない部分が意味するところ、それが果たす役割は大きいのです。皆さんも、毎日の学習や部活動に頑張ることはもちろん、日常の清掃活動にも手を抜かずに取り組むとともに、挨拶・マナー・服装にも気を配ってほしい。一日一日を大切に、地道な努力を続けてください。その努力の積み重ねが、やがて将来を生き抜く自信へと変わってくるはずですよ。

卒業式

3学年主任 井手英介

令和3年3月1日、無事に卒業式を行うことが出来ました。これもひとえに保護者の皆様のご協力の賜物です。本当にありがとうございました。152名の生徒たちが清峰を巣立っていきました。生徒たちはこの3年間、一生懸命に心と体を磨いてきました。時には厳しく指導したこともありましたが、式での姿は本当に立派でした。3年間ありがとう。これからは152本のレールの上を、それぞれが個性あふれる列車を走らせてください。そして、周りの方々にたくさん乗せて社会の役に立つ走り方をしてください。楽しみにしています。最後になりますが、在校生の皆さん、素敵なサプライズありがとう。君たちのお陰で3年生は楽しい学校生活を送ることができました。次は君たちが先頭に立ち、清峰を引っ張って行ってください。



卒業式答辞より

3年1組 松山 梢

先生方、保護者の方々、地域の皆様の応援により、様々な行事を開催して頂きました。各ブロックが力を合わせて臨んだ最後の体育祭。短い期間で多くのことを覚えて、教えて、忙しい毎日でしたが、一つ一つ出来上がっていく度に達成感を覚えました。

そして、感動の連続だった文化祭。各クラスが合唱コンクールでの金賞を目指して練習を重ねる中で、お互いに熱心さのあまり、意見が対立することもありました。しかし本番では、クラスの気持ちが一つになり、美しいハーモニーが体育館中に響き渡りました。声楽選択者の生徒と本多先生が作詞作曲した課題曲「君と未来も」には、私たちの想いがたくさん込められています。私が大好きな歌詞に、「失ったものは大きいけど大切なことを教えてくれた、笑い合える、語り合える、そんな当たり前の幸せに」という言葉があります。

新型コロナウイルスの影響で、私たちはたくさんのことを失ってしまいましたが、学校に通える幸せ、行事に取り組める幸せ、部活動に打ち込める幸せ、たくさんの幸せに気付くことができました。全員の思いを乗せて歌い上げた3学年の全体合唱は、1年生の頃に憧れた先輩方を超えられたのではないかとさえ思います。

(答辞の一部)



新年度日程

新
入
生

4月1日(木)合格者登校日

- ・校歌練習
- ・生徒会オリエンテーション
- ・部活動紹介

4月8日(木)入学式

- 12:20~ 受付
- 13:00~ 出欠点検
- 13:30~ 入学式

在
校
生

4月8日(木)

- SHR(新クラス)
- 大掃除・式場設営
- 新任式・始業式
- LHR ※終了後下校

4月9日(金)

- 進路マップ・スタディサポトテスト
- 学年集会等

行事予定

4月

- 8日(木)新任式・始業式・入学式
- 9日(金)全学年進路マップ・スタディサポトテスト
午後 2・3学年学年集会
1年オリエンテーション
- 12日(月)補習開始(2・3年)、1年写真撮影
- 13日(火)朝読開始、1年心臓検診
- 14日(水)部活動編成、1・2年内科検診、検尿1次
- 15日(木)面談のため短縮授業開始(~30日)
各種専門委員任命式
- 16日(金)歓迎遠足
- 20日(火)1年補習開始
- 21日(水)2・3年内科検診
- 22日(木)身体測定・新体力測定
PTA新旧役員会
- 27日(火)検尿2次
- 28日(水)検尿2次、PTA新旧理事会
- 30日(金)1年レントゲン検診

職員異動のお知らせ

氏名	教科・所属学年等	部活動顧問	転任校など
望月 聡	教頭		国立諫早青少年自然の家
四辻 義仁	事務長		諫早東特別支援学校
横山 淳	理科	写真新聞	退職
安達 ゆかり	英語	英語	退職
山口 洋市	地歴公民	男子バスケット	諫早商業高校
井手 英介	保健体育	野球	県教育庁体育保健課
飼鳥 沙織	美術	美術	退職
井野口隆一	理科	美術	佐世保中央高校屋間部
山崎 銀河	地歴公民	サッカー	鳴滝高校屋間部
吉川 里花	国語	卓球	聖和女子学院高校
末永 綾乃	福祉	吹奏楽	佐世保特別支援学校
辻 信幸	主事		退職
魚屋 耕希	地歴		奈留高校

長くお世話になった先生方から、1年間お世話になった先生方まで、本当にありがとうございました。すべてが先生方との貴重な思い出です。



転勤先などでの先生方のご活躍を期待しています。ありがとうございました。

合格発表

3月17日(水)合格者が発表されました。今年は、感染拡大防止の観点から、職員玄関前と生徒玄関前の2カ所で開催されました。今年は、入試の形も大きく変わり、受験生の皆さんはとて大変だったことと思います。合格おめでとうございます。



合格者登校日

3月18日(木)合格者登校日が行われました。今後の説明や学校内での約束事、PTAからの説明などが行われ、その後は、制服採寸や学用品の購入と続きました。



総合学科発表会 「挑戦～未来へ一歩～」

2月10日(水)、「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」における学習の成果を発表する「第16回総合学科発表会」を、今年はリモート形式で実施しました。発表の場に一般生徒は残念ながらいませんでしたが、各学年とも日頃の活動について発表することができました。1学年「産業社会と人間」の発表では、学校訪問、職業理解、社会について考えるについて学年の代表者が発表を行いました。2学年「総合的な学習の時間」の発表では、課題研究テーマ設定についてテーマを設定するまでの流れや、これから研究をしていく計画などについて発表を行いました。3学年「総合的な学習の時間」の発表では「課題研究」の成果として、4グループの代表者が、自分たちで設定した課題について、1年間かけた研究の成果を披露しました。発表をした生徒はもちろん、運営に携わった生徒など、今年のコロナ過の中でも「挑戦することを続け、未来への一歩」とすることができたのではないかと思います。



来年度の総合学科発表会

今年度の総合学科発表会は、コロナの関係で、縮小された形となりましたが、来年度については現在のところ、昨年と同じように佐々町文化会館で実施する予定です。来年度の発表会に向けて、総合学科としての皆さんの取り組みを発表してもらいますのでよろしくお願いします。(下は令和2年2月実施分)



【系列紹介】情報ビジネス系列

情報ビジネス系列からは主に、事務系への就職、商業科目を利用した大学、専門学校への進学など、幅広い進路に対応できます。学んでいく上での一番の魅力はやはり検定の取得です。現在、社会に出るためには様々な能力が必要とされていますが、どのくらいの資格を持っているかは重要になってきます。他のどの系列よりも多くの資格を取得することができます。また、挨拶や礼儀作法などを授業を通して学んでいき、将来に羽ばたいていく人材を育てていきます。

